

「第 20 回三遠南信サミット 2012 in 東三河」が開催されました。

平成 24 年 10 月 2 日、豊橋市のホテル日航豊橋で記念すべき 20 回目のサミットが「三遠南信の歩みと未来～県境連携の先駆けとしての地域創造～」をテーマに開催されました。

サミットでは、大西教授の基調講演のほか、三遠南信の歩みについて報告があり、会場ロビーでは、過去のサミットのパネル展が行われました。午前中の住民セッションでは、地域住民、住民団体のプラットフォームとなる三遠南信住民ネットワーク協議会が 6 月に設立されたことが報告されました。サミット宣言では、SENA の体制強化と平成 28 年度の広域連合設置に向けて協議を進めることが確認されました。



■ 「新・連携組織検討委員会」の協議が始まりました。

SENA の専門委員会として、新連携組織のあり方などについて検討する新・連携組織検討委員会の協議が始まりました（第 1 回会議：平成 24 年 9 月 27 日）。構成員の皆様にはアンケート等にご協力をいただいております。これらを踏まえ、WG（ワーキンググループ）で議論を深めます（第 1 回 WG：平成 24 年 11 月 19 日、第 2 回 WG 開催予定：平成 25 年 1 月 23 日 午後 2 時から浜松市役所）。

■ 「第 1 回三遠南信地域大学連携検討会議」が開催されました。

平成 23、24 年度において、国土交通省「官民連携主体による地域づくり推進事業」に選定され、次世代社会基盤分野を対象に、人財資源の活用とその定着を促すための事業活動について、産・学・官・金の連携によって推進することを目的とする「三遠南信地域次世代社会基盤創造のための人財育成・定着化事業」を実施しています。

平成 23 年 10 月に、三遠南信大学シンポジウムを開催。平成 24 年 12 月には、三遠南信地域大学連携検討会議第 1 回会議が開催され、産学官協働による人財育成のための円卓会議（下記）に向けた議論が行われました。

「三遠南信地域産学官人財育成円卓会議」が開催されます。

日時：平成 25 年 2 月 1 日（金）午後 2 時から

場所：ホテルクラウンパレス浜松

内容：三遠南信地域における人財の育成・定着に向けた産学官による意見交換

「SENA三大ニュース 2012」平成 24 年の振り返り

<3月4日 三遠南信自動車道 鳳来峡 I C～浜松いなさ北 I C 供用開始>

東三河、遠州地域側では初めてとなる三遠南信自動車道の一部区間の供用開始です。奥三河地域と遠州地域がぐっと身近になり、地域住民の利便性向上、観光客の増加や救急医療サービスの向上など様々な整備効果が報告されています。



<4月14日 新東名高速道路 御殿場 JCT～三ヶ日 JCT 供用開始>

新東名高速道路が静岡県内で供用開始されました。平成 26 年度には、豊田東 JCT までの愛知県区間が供用開始される予定で、新たな東西軸と南北軸の整備による相乗効果で、交流人口の更なる拡大が期待されます。



<H22.3月～H24.3月 三遠南信地域社会雇用創造事業>

平成 22 年 3 月内閣府の採択を受けて、三遠南信地域社会雇用創造事業（事業費：約 5 億 3 千万円）を地域の社会的企業の協力のもと実施しました。インターンシップ事業では、1,070 名が研修を修了し、インキュベーション事業では、78 名が起業されました。

「現場 NOW（ナウ）」視察に行ってきました。

<木質ペレット／龍山森林組合>

龍山森林組合（浜松市天竜区）のペレット製造現場を訪問し、片桐組合長にお話を伺いました。当工場の生産能力は最大で 800 トン／年で、単価の維持が課題とのこと。良好な森林環境や木材需要の維持のため、森林・木材の管理を保証する FSC 認証や、静岡県の森林（もり）づくり県民税を活用した森の力再生事業、天竜材の家／百年住居（スマイル）事業などに官民で取り組んでいます。



<天竜川ダム再編事業／国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所>

佐久間ダム電力館で、浜松河川国道事務所杉山副所長にお話を伺いました。ダム再編の目的は、50 年に 1 度の災害にも耐える河川の管理（治水）で、ダムに流入する土砂を下流に流すことで、遠州灘海岸の侵食改善も期待できます。現在、ダムから土砂を下流に流すための方法、それら工事の影響について調査を進めているとのことでした。



「知っとる？知ってるけ？」SENA 豆知識

人口全国都道府県別？ ランキング

第 16 位

SENA の圏域人口は平成 22 年国勢調査で 230 万人です。これを全国の都道府県と比較すると、14 位新潟県 237 万人、15 位宮城県 234 万人、16 位長野県 215 万人と同規模ということになります。

因みに、オブザーバーの牧之原市と伊那市の区域を加えると 242 万人で 13 位の京都府 263 万人に次ぐ人口規模となります。

■ あとがき

SENA 豆知識のタイトルを「知ってるけ？」にしたら東三河の事務局員からクレームがきました。東三河と南信州では「知っとる？」が標準語だそうです。ところで、東三河・西三河と奥三河、上伊那・下伊那と南信州。それぞれエリアの違いがわかりますか？（SENA 事務局：久米）

< お問い合わせ・連絡先 >

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

（SENA：セナ）事務局

〒430-8652 浜松市中区元城町 103-2

浜松市企画課内（本館 5 階）

TEL：053-457-2242 FAX：053-457-2248

Eメール：sena@clear.ocn.ne.jp

